

わたしのミニちゃん

ごゆ小・2 おおはし ひなた

わたしは、なつ休みにまい日やっていることがあります。それは「ミニちゃん」の水やりです。ミニちゃんとは、そだてているミニトマトのことです。学校の生活科でなつ野さいをそだてることになったときに、わたしは何をそだてようか、まよいました。なぜかというと、にが手な野さいが多かったからです。オクラは、ネバネバしているし、ナスは、たねのあじがしぶいし、ミニトマトは、ぐじやぐじやしているし、なつ野さいは、すきなものが少ないのです。でも、せっかくだから、一つでもにが手をこくふくしようと思い、ミニトマトをえらびました。

学校で先生にそだて方を教えてもらうと、ミニちゃんは、じゅんちように大きくなっていきました。はっぱからトマトのにおいがしてきたときには、とてもおどろきました。なつ休みが近づいてきて、もうすぐミニちゃんとおわかれかなと思っていたら、先生が、「なつ休みは、お家にもつてかえっておせわをするよ。」と、言いました。わたしは、心の中で、
(ちちゃんとおせわできるかな。)

わたしは、家でまい朝、水やりをすることにしました。あつい日ばかりで、水をあげても、すぐに土にしみこんでしまいます。一週間くらいすると、ミニちゃんは、なんだかやせて元気がないように

かんじました。くきがちよつと茶色くなって、はっぱがかれておちてしまいました。

「どうしちゃったの。ミニちゃん。」

と、わたしはドキドキして、かなしい気もちになりました。そういえば、おかあさんに、

「あついから、こまめにお水をのんでね。ねっ中しよになつちやうよ。」

と、言われていたのを思い出しました。もしかして、ミニちゃんもねっ中しようかなと思い、こまめにお水をあげることになりました。水のあげ方もかえました。まずは、表めに一ぱい水をかけて、つぎに、古い水をながして、新しい水を入れたペットボトルをうえ木ばちのよこにはめて、土が長い間しめっているようにしました。さらに、お水をあげた後に、

「大きくなってね。」

と、はっぱをよしよしとなでながら声をかけるようにしました。すると、数日たって、くきのよこから新しいはっぱのびてきました。ミニちゃんがまた元気になってくれて、とてもうれしかったです。ほかに、クモがすを作ったり、ざつ草がはえたりもしましたが、がんばっておせわをつづけました。

しばらくすると、みもたくさんできるようになりました。朝はみどり色だったトマトが、夕方にはオレンジ色になっていて、ミニちゃんもがんばっているんだなと思いました。オレンジ色のトマトをとって食べてみると、すっぱかったです。少しがまんして、赤くなるまでまつと、とてもあまかったので、家ぞくにも食べてもらいました。

「おいしいね。お日さまのあじがするね。」

と、言ってもらって、にこにこしてしまいました。そだてたミニトマトが朝ごはんに出てくるのもうれしし、トマトがにが手だったのに、おいしいと思えるようになりました。

今日も新しいミニトマトができています。でも、みの大きさがだんだん小さくなってきました。かれてはいないけれど、ちよつと元気がないように思います。もしかして、ミニちゃんがおばあちゃんになつてきたのかなと思いました。ミニちゃんにもじゅみようがあるのかもしれない。でも、さい後までいっしょにいてあげたいと思います。わたしのミニちゃんは、お店のものにくらべたら小さいけれど、あいじょうはだれにもまけません。今年のなつ休みは、まい日、ミニちゃんといっしょにいられて、わたしは、とてもしあわせです。